

神戸市感染症発生動向調査週報

平成30年4月5日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3, 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8
 設置定点数 48 ケ所

第 13週

平成30年3月26日 ~

平成30年4月1日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ	4		2		16		6	27	30	85		2	1	3	4	5	9	6	5	1	6	9	1	2	12	7	2	5	4	1

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2, 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5
 設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~						
RSウイルス感染症					1		2	1	1	5	1	2		1	1															
咽頭結膜熱	1		1						6	8			1	1		1	3	1				1								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	4	1		5	3	1	7	17	45				3	3	3	7	12	3	3	3	3	2	3						
感染性胃腸炎	7	12	12	6	33	12	29	60	26	197	2	5	17	24	14	13	14	15	20	8	13	23	6	23						
水痘	3	1		1				2	1	8		1			1	1			1	2	1	1								
手足口病							1			1												1								
伝染性紅斑										0																				
突発性発疹				1	1		1	1		4			3	1																
ヘルパンギーナ										0																				
流行性耳下腺炎	1			1						2							1					1								

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

国内で麻しん患者が発生しています。
 平成30年3月17日に沖縄県に来県した海外観光客が発疹の出現により医療機関を受診したところ、麻しん及び風しんの疑いがあり、検査で麻しん遺伝子陽性（遺伝子型D8）となりました。なお、観光客は調査により、来県前に発熱していたことがわかっています。
 その後、二次感染と思われる麻しん患者が4月4日時点で20名沖縄県内で報告されています。
 麻しんは、感染して10~12日後に発熱、咳、鼻水といった風邪のような症状の後に高熱と発疹が出現します。
 麻しん患者と接触した可能性がある場合は、体調の変化に注意し、発熱、発疹等の症状が現れた場合には、医療機関に事前連絡の上、受診しましょう。

[麻しん\(はしか\)患者の発生について 沖縄県HP](#)

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1, 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2
 設置定点数 10 ケ所

眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	
急性出血性結膜炎									1	1														1						
流行性角結膜炎	1									1																1				

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

- 東灘区○ヒトメタニューモウイルス2例:1歳 男
 ○細菌性腸炎(カンピロバクター)2例:11歳 男、15歳女
- 中央区○アデノウイルス感染症1例:2歳 女
 ○ヒトメタニューモウイルス1例:2歳 男
- 北区○マイコプラズマ肺炎1例:8歳 男
- 垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:年齢性別不詳
 ○細菌性腸炎(病原性大腸菌O18)1例:年齢性別不詳
- 西区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:23歳 男

【市内の感染症の状況】

○インフルエンザ **流行期**

今週のインフルエンザ患者の報告は、定点あたり1.8人(先週3.5人)となりました。

【行政検査情報】※行政検査: 公衆衛生上、問題となる病原体について市が行う検査

- 風しん(五類感染症)疑い 22歳 女 検査結果:PCR陰性のため発生届出取下げ
 ・症状:発熱、発疹、咳、リンパ節の腫脹 ・ワクチン接種歴あり(1回)

- 麻しん(五類感染症)疑い 44歳 男 検査結果:PCR陰性のため発生届出取下げ(病院が実施したIgMの検査結果も陰性)
 ・症状:発熱、発疹、コプリック斑、咳、鼻汁、結膜充血 ・ワクチン接種歴あり(1回)
 ・麻しん患者との接触歴不明 ・渡航歴あり(オーストラリア(シンガポールの空港経由))

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向 \[検索\]](#)

[「I」情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター

2018年4月3日作成

全数把握対象感染症発生状況 (二類感染症 結核)

結核届出患者数は5人(うち潜在性結核感染症2人)です。

全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 細菌性赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	30代	不明	2018年3月26日	2018年4月4日	sonnei (D群)	分離・同定による病原体の検出(便)	発熱・下痢 腹痛	不明	海外渡航歴なし

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。))

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	5~9歳	2018年3月28日	2018年3月28日	2018年3月29日	インフルエンザB型	臨床決定	発熱・痙攣 意識障害	飛沫・飛沫核感染	-
女	5~9歳	2018年3月29日	2018年3月29日	2018年3月30日	病原体不明	臨床決定	発熱 意識障害	飛沫・飛沫核感染	-

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2018年3月22日	2018年3月23日	2018年3月26日	-	分離・同定による病原体の検出(血液・髄液) イムノクロマト法	頭痛・咳 発熱・嘔吐 意識障害 全身倦怠感 菌血症・髄膜炎 その他(副鼻腔炎)	不明	ワクチン接種なし
男	0~4歳	2018年3月24日	2018年3月26日	2018年3月27日	-	分離・同定による病原体の検出(血液)	発熱・痙攣 菌血症	不明	ワクチン接種あり(2回)
女	0~4歳	2018年3月25日	2018年3月27日	2018年3月28日	-	分離・同定による病原体の検出(血液) イムノクロマト法	発熱	不明	ワクチン接種あり(4回)

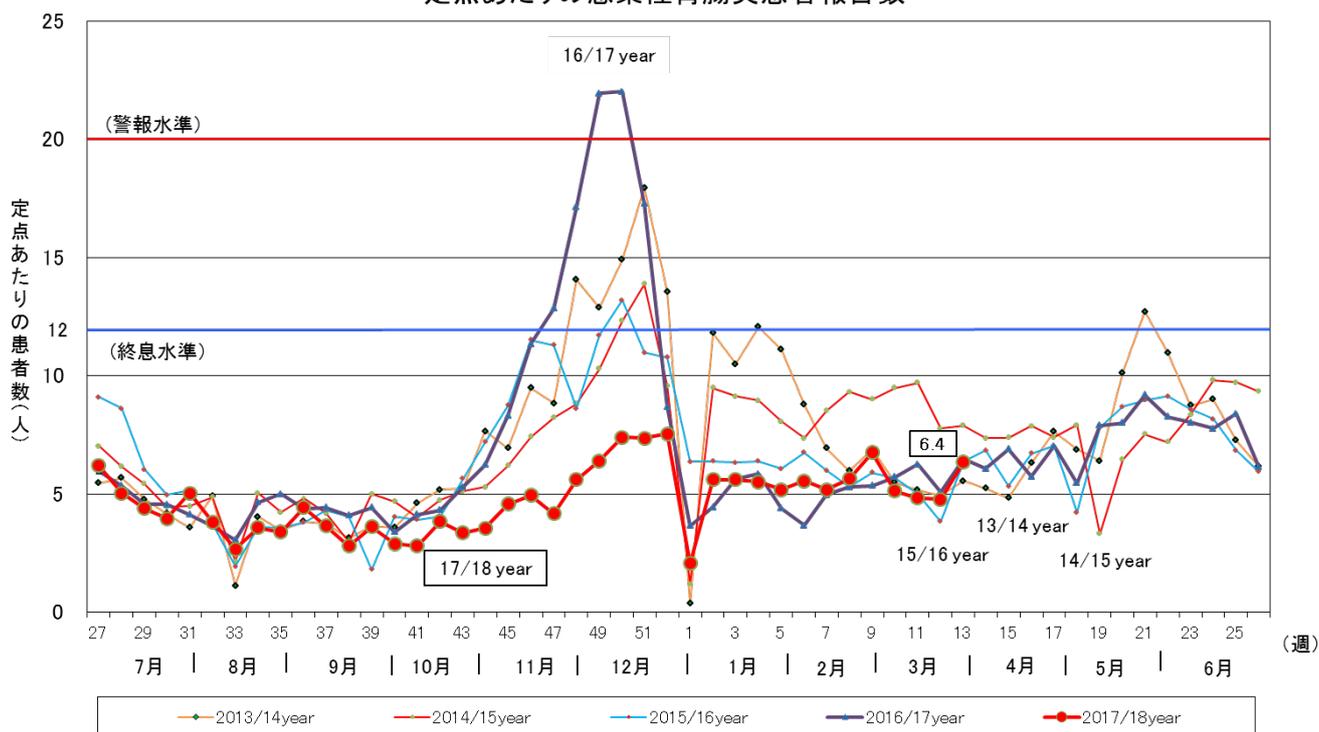
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	20代	2017年3月12日	2017年8月9日	2018年3月28日	早期顕症梅毒Ⅱ期	RPRカードテスト TPHA法	扁平コンジローマ	異性間性的接触	-

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
A型インフルエンザウイルス (H3亜型)	鼻腔ぬぐい液	中央	9歳女(3/9採取、38.3℃、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	西	8歳女(3/10採取、発熱あり、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	東灘	4歳男(3/15採取、39.3℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明)
	鼻腔ぬぐい液	北	21歳女(3/15採取、38.5℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)、家族内発生
B型インフルエンザウイルス (山形系統)	鼻腔ぬぐい液	須磨	7歳男(3/5採取、38.7℃、インフルエンザ、ワクチン接種済み)
RSウイルス	鼻腔ぬぐい液	北	1歳1ヶ月女(3/20採取、39.5℃、RSウイルス感染症)
ヒトメタニューモウイルス	鼻腔ぬぐい液	須磨	1歳4ヶ月男(3/19採取、40℃、ヒトメタニューモウイルス感染症)
	鼻腔ぬぐい液	中央	1歳男(3/20採取、39.3℃、ヒトメタニューモウイルス感染症、気管支炎)
侵襲性肺炎球菌	菌株	中央	35歳女、発熱、嘔吐、咳、全身倦怠感、肺炎菌血症、血清型:12F/(12A/44/46) ワクチン接種歴なし

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数

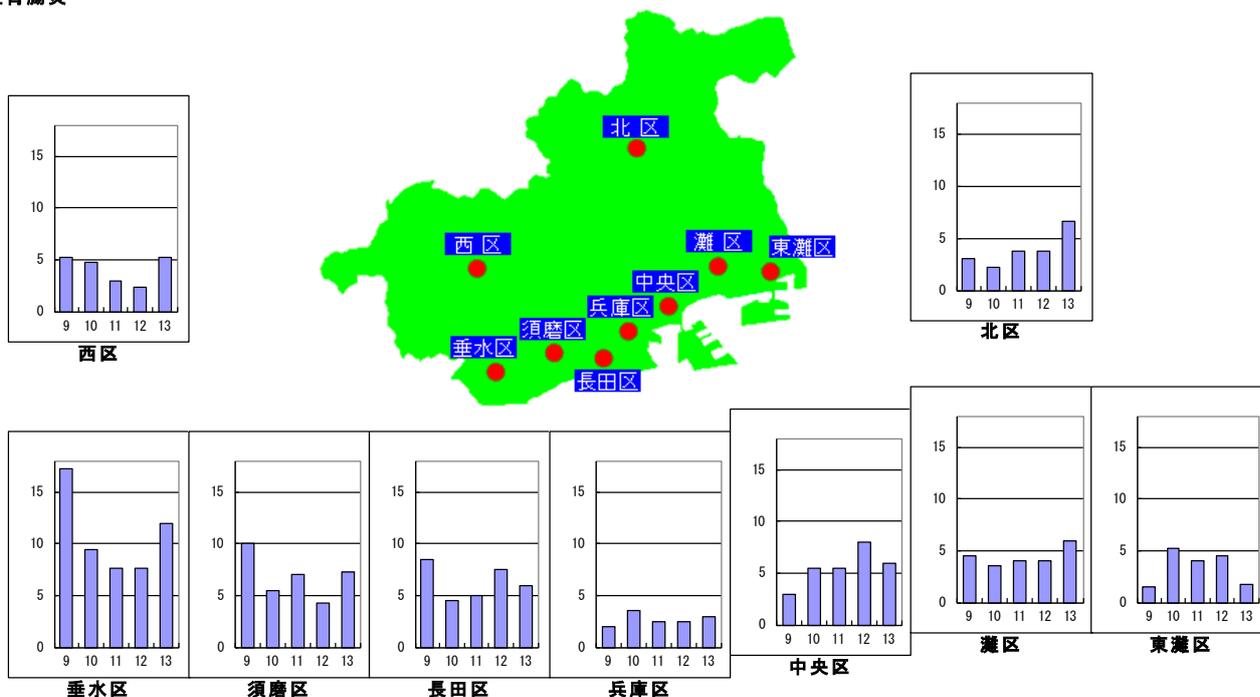


疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 9 週 平成30年2月26日

～ 第 13 週 平成30年4月1日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。